

舟石川小学校区

動物 16

ハナアブ

まるい花とまるい体のアブは似合のハナアブ。花と虫は仲良し。

植物 16

マルバハコク
(8月~10月)

熱帯アメリカ原産のつる性一年草。増えすぎて、やっかいな植物として問題になっている。

動物 16

ショウリョウバッタ

草むらに休んでいると見分けが難しいが、すぐ跳ねるので見つかる。

植物 16

キショウブ
(5~6月)

ヨーロッパ原産の多年草。栽培されていたものが野生化している。

動物 16

ニホンヤモリ

中生代のキョウリュウの仲間。生き残りのひとつ。おとなしい爬虫類。

植物 16

ツルクサ
(5~6月)

道ばたや畑などに生える一年草。早期に咲いた花は午後にはしぼんでしまう。花弁は3枚あり、上側の2枚が青い。花期は6月~9月。

動物 16

コガタコガネグモ

雄木林の縁に網を張って餌がかるのを待っている。

菌類 10

イボテンガタケ

かさの表面には白っぽいイボイボが付着し、柄の基部は球根のように膨らむ大型のきのこ。主に針葉樹の下に生え、公園などでも見かける。有毒。

菌類 10

ムラサキシメジ

秋近く、落ち葉が積もった林内の地上に現れる。紫色~緑色のきのこ。柄の基部はぶくくりと膨らむ。食用だが、生食すると中毒する。

菌類 10

ツチグリ

地上に降りたお星さま。星形に開いたきのこは乾燥すると収縮し、湿度を含むとまた開くため、「きのこの晴雨計」とも呼ばれる。

中丸小学校区

地史・古生物 7

高師小僧の密集：中丸

高師小僧は鉄の塊。水中の鉄分を、バクテリアが植物の茎や根に沈殿・付着させて生まれる。中丸地域の約12万年前の粘土層等から多く産出。

地史・古生物 8

湧水でできた溜池：洞ノ内

湧出した豊富な地下水を利用。谷津からの流れを人工的に堰き止めて溜池。村内の溜池の多くは、このようにして造られた。

地史・古生物 9

地層境界からの湧水：洞ノ内

水を溜し、深い村松層と上位の礫層との境界から、地下水が湧き出す状態。東海村が水豊かな証の一例。新川層でも同様な状況が広く見られる。

地史・古生物 10

火山灰の地層：洞ノ内

村松層の一部、火山噴火で噴出した火山灰が、海面を覆った後、海底に沈んで堆積した凝灰岩の地層。地震等による、層の変形が見られる。

地史・古生物 11

新川層の露頭：南台住宅団地下

新川層は川縁の西側で基盤となる地層。谷の縁に沿って見られ、1100万年以上の、深い海で堆積した泥質砂岩。化石を多く含む。乾燥すると脆い。

地史・古生物 12

火砕流の堆積層：前原

新川層に見られる火山の噴出物。東海村から離れた西方の場所でも火山灰が記号。発生した火砕流が海面に流れ込んで堆積した地層。

地史・古生物 13

村松層と石灰質ノジュール：部原

村松層は、川縁から東側の基盤となる。210万年前~480万年前の、深海で堆積した泥質砂岩の地層。様々な化石を含む。礫状の部分は石灰質ノジュール。

動物 17

ミナミメダカ

小川を代表する魚。背ビレの形で雌雄が分かる。現在は、限られたところのみに生息。

菌類 10

アヒダケ

夏~秋、コナラやクヌギの林内に、緑のまだら模様のかさを広げる鮮やかなきのこ。食用になる。

植物 17

カザグルマ
(5月~6月)

水田縁の草間に生える。つる性の多年草。野生のクレマチスといわれ、白色の大きな花をつける。

菌類 10

アラゲキクラゲ

中華料理の重要な食材。耳たぶのように柔らかく、灰色を帯びた毛が密生する。路傍の雑草の根の傍など、人家近くの身近な場所にも見られる。

動物 18

ヤマトシジミ

庭先から野原まで、どこにも姿を見せる小さな蝶。

動物 18

サケ

秋になると、はるばる北の海から南下し、生まれ故郷の川を遡上(そじょう)し、産卵する。

照沼小学校区

地史・古生物 14

砂丘：白根

砂丘は、国道245号線付近から東側に分布。原子力関係施設によって、広くは見られないが、新川北側の松林で砂丘を観察できる。

地史・古生物 15

真崎浦の痕跡：川根からの眺望

川根から東方を見ると、水田の中に、小島のような地形が見られる。真崎浦が、干拓される前は海水の入った湾であったことを示す地形。

地史・古生物 16

潮間帯の堆積層：堀米

細かな砂の層で、間に薄い泥の層を挟む。13万年以上前の潮間帯で堆積した見和層上部。村内や周辺の砂取場はこの見和層上部の地層。

動物 19

ベニシジミ

春から秋まで野原を舞う虹い紋をつけた美蝶。

動物 21

オナガ

名前のとおり尾が長い鳥。平地から低山地の比較的明るい森林や竹林を好む。群れをなして行動し、「グーイー、グーイー」としわがれた声を出す。

菌類 10

ケシムラサキチャワンタケ

春に、湧かしみ出す粘土質の斜面に現れる。葉が切った小さい皿のようなきのこ。

植物 18

ガガイモ
(8月~9月)

土手などに生える。つる性の多年草。葉を切るとうしろ液がでる。毛の多い紫色の花を多数つける。

植物 20

ヘクソカズラ
(7~9月)

道ばたや斜面に生える。つる性の多年草。葉や茎に独特のにおいがある。

植物 21

コメゲヤツリ
(8月~10月)

水田や休耕田に生える一年草。茎の先に小さい花を多数つける。

植物 22

ウリカワ
(6月~9月)

水田や休耕田に生える一年草。水田雑草のひとつであるが、急速に減少している。

植物 23

アメリカオニアザミ
(7月~10月)

ヨーロッパ原産の二年草。茎や葉に鋭いトゲがあるので要注意。道ばたで増えている。

このマップに掲載されている自然について、もっと詳しく知りたい時は、

『東海村の自然』

『東海村の自然誌』

『東海村の自然誌II』

を調べてみよう！

東海村の木・花・鳥

東海村の木
クロマツ

東海村の花
スガシユリ

東海村の鳥
メジロ

東海村でみられる動植物の暦

東海村でみられる動物

1月: オオコキザリ, オオハクチョウ, モズ, ウケ, スズムシ, ヒバカリ, ミナミメダカ, ツバメ, ムクズガニ

2月: トウキョウサンショウウオ, ミヤマガラス, メジロ

3月:

4月:

5月:

6月:

7月:

8月:

9月:

10月:

11月:

12月:

東海村でみられる植物

1月:

2月: セイウアブラナ (3月~4月)

3月:

4月:

5月:

6月:

7月:

8月:

9月:

10月:

11月:

12月:

東海村でみられる菌類

1月:

2月:

3月:

4月:

5月:

6月:

7月:

8月:

9月:

10月:

11月:

12月: